

# マスクフィットテスト PortaCount®

モデル 8040/8048

かんたん  
操作

フィット  
ファクタ  
測定

豊富な種類の  
マスクに  
対応可能

可能な  
ハンドリング  
数千人分

米国  
OSHA  
認証



## JIS T 8150にある 短縮定量的フィットテストに完全対応！

01

### データベース管理

被験者、マスク、テスト手順/結果などは、  
ハンドリングが容易

### モード指定可能

一般オフィス内の測定では  
パーティクル発生器は不要（通常モード）



02

### 使い捨てマスクにも対応

N95モードの利用により、使い捨てマスクの  
正確なフィットテストが可能（モデル 8048）

### ソフトウェアによる操作指示

操作はソフトウェアの指示する  
フィットテスト手順に従うだけで極めて容易



03

### 被験者は、アニメーションにより 次に何をすればいいかが わかりやすい

被験者は表示されるアニメーションに従って  
動くだけでテストが可能



PortaCount® は、JIS T 8150の短縮定量的フィットテストのもととなった  
OSHA1910.134短縮法開発に利用された装置です。

大型CNCエンジンの採用によりJIS T 8150にある短縮定量的フィットテストに完全対応（2分29秒）。

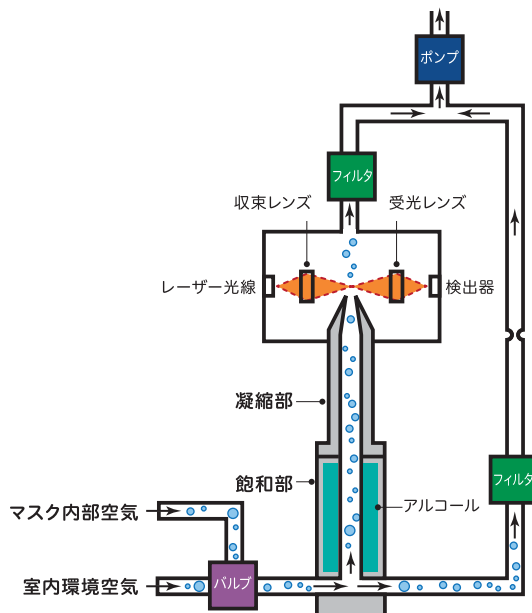
フィットテストをビジネスとしてご検討されているお客さま、

多人数のフィットテストを実施するなど、効率の良いフィットテストが必須のお客さまには本機の一択です。

## PortaCount®

### 測定原理

マスク内の微粒子数 $C_{in}$ とマスク外の微粒子数 $C_{out}$ の比からフィットファクタが算出されます。一般にOPC（光散乱検出器）を採用している装置は粒子がレーザー光を横切る際に検出器に発生させるパルス数から粒子数を計測しています。しかし、この検出法で計測可能な $0.3\mu\text{m}$ より大きな粒子数濃度は正しい測定のためには不十分であり、米国OSHAでは認められていません。PortaCount®ではCNC技術を採用しているため $20\text{nm}$ ～の粒子が計測可能です。そのため、粒子個数濃度が $0.3\mu\text{m}$ 以上の個数濃度に比べて数十～千倍程度となり、信頼できるデータの取得が可能です。このCNC技術を利用した手法は、大気じんを利用したフィットテスト方法としては唯一米国OSHAに認められています。



どんなに高性能な防じん・防毒マスクでもサイズの不適合や装着の不完全さに起因する漏れが生じてしまっている場合は、マスク装着の意味が薄れてしまいます。フィットテストを実施することで、マスク使用に関して正しく着用できているかを確認することができます。本機を使用することで、定量的にマスク装着を評価することができます。

特化測の改定により、溶接ヒューム作業者はJIS T 8150に従いフィットテストを行う事が義務付けられています。

当社に対するご意見、ご相談や製品・サービス全般についてのご質問、資料請求を承っております。

正規代理店



トランステック株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-11-15 電波ビル 3F

TEL : 03-5475-5656

<https://www.transtech.co.jp/>

※仕様は2022年10月現在のものです。予告なく変更することがあります。

0000AA